

総務教育民生常任委員会

1議案が賛成少数で否決すべきものに その他の議案は可決すべきものに

12月3日、本定例会において、当委員会に付託された15議案について審査を行いました。

『下呂市立萩原南保育園の指定管理者の指定について』の審査では、委員から「他の保育園でも今後条件さえ整えば、民営化を進めていくという事でいいのか。それでは、市の責任が明確にならないのではないか。」との質問がある。

り「環境・条件が整えば、市としては指定管理を行いたい。市としての責任はしっかり持つ」との答弁がありました。

『指定金融機関の指定について』では、「なぜ2つの金融機関で輪番制を行うのか」という質問に対し、「輪番制については、高山市や飛騨市でも複数の金融機関による輪番制が実施されています。また益田信用組合を選定したのは、市の指定金融機関業務が出来るという事で判断をしました。飛騨農協を排除したわけではありません。」との答弁がありました。この議案につきましては、様々な質疑がなされましたが、執行部の説明に不十分な部分もあるとして賛成少数で否決すべきものと決しました。

『下呂市税条例の一部を改正する条例について』では、「どのような場合に日帰り入湯税が賦課されるのか」との質問に、「下呂市観光商工振興協議会からの答申を受け、入湯に係る料金が1,000円を超える場合に課税しま



萩原南保育園玄関

す。食事付き入浴プランについても1,000円を超えていれば対象になります。課税金額については100円です。」と答弁がなされました。この議案につきましては、全会一致で可決すべきものと決しました。

『下呂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例について』につきましては、「国の法律が子ども子育て支援法に変わったことによる対応だと思うが、保護者の負担が増える事にはならないのか。」との質問に対し、「法律が変わったことで想定される範囲を考えると、今回の条例改正としました。変更することにより、園ごとの開きもありませんし負担が増えるこ

ともありません。」と答弁がなされました。

その他の当委員会に付託された議案につきましても、質疑がなされましたが、全て全会一致で可決すべきものと決しました。



産業経済常任委員会

付託された5議案を可決すべきものに
請願を採択し、意見書を提出

12月4日委員会を開催し、当委員会に付託された5議案について、執行部から説明を得て慎重審査を行いました。

『下呂市道の駅南飛驒小坂はなもも条例について』『下呂市農林水産物等生産加工展示販売施設条例の一部を改正する条例について』は、関連があり一括審査を行いました。指定管理料や相手先に関して質問があり、指定管理料は0円で、別途トイレの管理委託料が発生することでした。また相手先につきましては、飛驒小坂観光(株)に特定指名を行う予定であると、説明がなされました。また名称は指定管理を行っても現行どおりで営業を行うとのことでした。

この2議案については、全会一致で可決すべきものと決しました。

『字の区域の変更について』及び『下呂市緑地等利用施設条例について』は、全会一致で可決すべきものと決しました。

『下呂市市営住宅条例の一部を改正する条例について』では、「住宅を取り壊した後の更地をどうす



指定管理される、道の駅南飛驒小坂はなもも

るのか」との質問に「借地なので返還します。」と答弁がなされました。この議案も全会一致で可決すべきものと決しました。

『地域振興・地域林業の確立に向けた「山村振興法」の延長と拡充に係る請願』につきましては、全会一致で採択すべきものとして、意見書案を作成し最終日に本会議に提出しました。

予算特別委員会

一般会計では約6千万円を増額補正

12月5日委員会を開催し、付託された9議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。予算拡充または減額された事業の主なものについてお知らせします。

一般会計

補正額

6,155万円
補正後 205億5,599万円

8 特別会計

補正額

104万円
補正後 119億3,109万円

3 企業会計

補正額

450万円
補正後 28億2,312万円

一般会計歳入補正の主なもの

◎市民税個人分(歳入見込み額の増額) 5,012万円

◎固定資産税(滞納繰越分) 4,500万円

◎財政調整基金繰入金の減額 △4,400万円

◎萩原南・金山保育園の指定管理料剰余金の清算 687万円

◎児童・デイサービス利用料(ことばの教室利用者増) 752万円

一般会計歳出補正の主なもの

◎萩原北保育園の指定管理移行に伴う施設改修費 508万円

◎ことばの教室利用者増による扶助費の増額 759万円

◎元気な農業産地構造改革支援事業への増額 681万円

◎市営住宅維持補修費の増額 500万円

◎育英資金基金の積み増し 9,000万円

特別会計歳出補正の主なもの

◎国保会計療養給付費の支出実績による増額 4,954万円

◎簡易水道特別会計収入見込み減による予備費の減額 △1,144万円

◎下水道事業特別会計施設維持管理費の増額 1,184万円